

人のぬくもりと
ふれあいが奏でる躍動のまち
丹波高原文化の郷●京丹波

広報 京丹波

KYOTAMBA

No.78
4月号

2012年4月12日発行

万感の思いを胸に
学び舎巣立つ

特集 予算



3月22日、瑞穂小学校で行われた初の卒業式。35人の卒業生は、松山・明俊・三ノ宮・質美の旧4小学校で過ごした5年間の思い出や1年間共に過ごした仲間たちとの日々を振り返りながら、慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。(関連記事を20ページに掲載)

予算

【特集】平成24年度

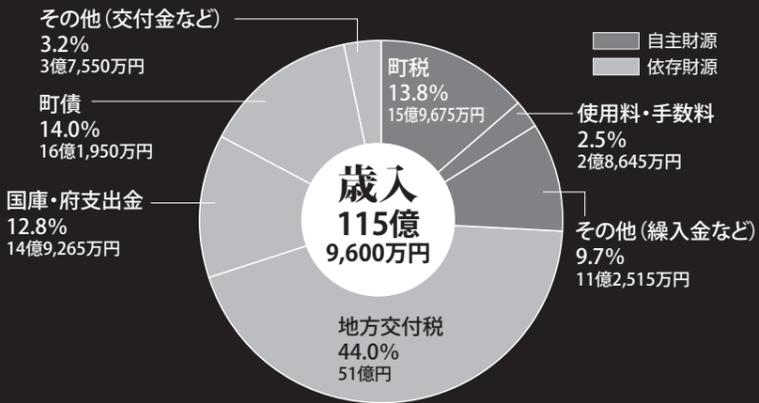
一般会計

歳入

歳入には、町税など町が自らの力で収入できるお金(自主財源)と、国や府から交付されたり、割り当てられたりするお金(依存財源)があります。グラフのとおり、自主財源は歳入全体の二六%で、残りの七四%は国・府支出金(負担・補助・委託金)や町債(借入金)などの依存財源に頼っている状況です。

自主財源の柱である町税は十五億九、六七五万円を計上。依然として景気回復の兆しが見えず町民総所得の伸びがマイナス基調にあることや、固定資産税の評価替えにより家屋評価額が経年減点補正されることなどから、前年度と比べ三八八万円減額しています。一方、依存財源では、最大の収入源である地方交付税を五一億円とし、国・府支出金を十四億九、二六五万円、町債を十六億一、九五〇万円見込んでいます。

歳入においては、多様な諸課題に対応するため、基金などからの繰



入金や交付税算入の高い有利な地方債を活用し、財源確保をしています。また、平成二十七年以降に降る普通交付税などの合併算定替の減少および合併特例事業債適用廃止に伴う収入減に備えた財政健全化対策にも努めています。なお、そのほかの歳入はグラフのとおり見込んでいます。

一般会計

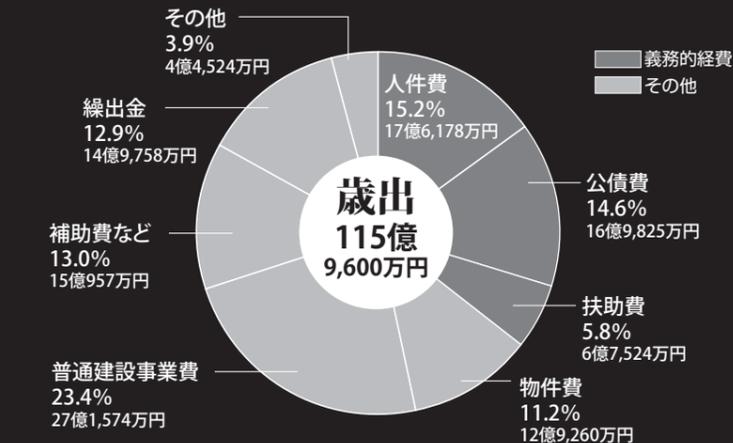
歳出

歳出のうち、人件費や扶助費(医療費助成などの経費)、公債費(町債の返済金)は「義務的経費」として支出が義務付けられています。本町では義務的経費が歳出全体の約三三・六%(グラフ参照)を占めており、昨年度と比べて五ポイント減少したものの依然として町の財政は硬直化した状況にあります。

項目別に見ると、人件費は十七億六、一七八万円を計上し、前年度に比べて三、五五五万円の減額。特別職給与や管理職手当の減額、時間外勤務手当の抑制、職員の定員適正化などに努めるとともに、人事評価の試行実施を継続して行います。

公債費については十六億九、八二五万円(元金十四億九、三四三万円、利子二億四八二万円)を計上。引き続き地方債残高の抑制などに努めるとともに、土地開発公社保有地の買戻しなど財政健全化に向けた対策を積極的に講じます。

また、物件費は、事務経費の削減



をはじめ、臨時雇用賃金や光熱水費などの削減に努めたことで、前年度に比べ二、五四〇万円減額しました。なお、事業内容の詳細は次ページのとおりです。

平成二十四年度当初予算が三月の議会定例会で可決され、成立しました。予算総額は一九五億五、六五九万円(二万円未満四捨五入、以下同じ)。内訳は、一般会計が一五億九、六〇〇万円、特別会計が七九億六、〇五九万円(財産区会計除く)です。一般会計は、財政健全化を念頭に置きつつ、福祉の推進と未来への投資を行うメリハリのある積極的な予算編成とし、前年度と比べ十億五、九〇〇万円増額。合併以降最大規模となりました。主な事業としては、全中学校での学校給食実施に向けた「学校給食調理場等整備事業」をはじめ、食の祭典などの取り組みを行う「京丹波『食の郷』創造プロジェクト事業」、携帯電話の不感地域解消に向けた「携帯電話等エリア整備事業」、ひとり暮らし高齢者の安心・安全を目指した「地域包括ケアシステム推進事業」、「旧和知第二小学校校舎解体」、「上豊田保育所耐震補強」、「山村開発センターおよび蒲生野中学校校舎の改修」など老朽化した施設の解体や改修のほか、丹波パーキングエリア(仮称)と一体的な地域振興拠点整備、原子力災害に対応するための放射線量計購入および地域防災計画の改訂などを盛り込んでいます。

NO.78 CONTENTS

- 2 【特集】 予算
- 8 和知簡易水道事業における公共事業再評価審査委員会の審査結果は「現計画を継続とする町の対応方針案は妥当」
- 10 暮らしのガイド
 - 後期高齢者医療制度に関するお知らせ
 - 上豊田保育所下山分園を1年間休園します
- 12 行政Information
 - 「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参画し本庁と支所に回収箱を設置
- 13 平成24年4月1日から町立医療機関の診療体制を変更しました
- 14 職員の配置・人の動き
- 17 FLASH KYOTAMBA TOWN NEWS 2012
 - スポーツと文化の発展に貢献
 - スポーツ賞・文化賞
 - 地元住民や消防団員と連携した初の地域連携型訓練
 - 和知診療所避難誘導訓練
 - 体験活動と耳うどんで下大久保の魅力を発信
 - シイタケ菌打ち体験
 - 原子力事故に備えた防災対策について協議
 - 防災会議
 - 林業大学校と地域の絆づくりを担う協議会が発足
 - 「京都府立林業大学校連携協議会」設立総会
 - 友好町・双葉町への息の長い支援に向けて
 - 11人の派遣団が避難所を訪問
 - 夢と希望を胸に新たな旅立ち
 - 卒業・卒園式
 - 防災力強化に向け消防車両6台を更新
 - 消防車両配備式

【一般会計】主な使いみち— 115.5 億円をこう使う

農林水産業費 11億4,417万円

農地制度実施円滑化事業	255万円
農業委員会の運営など	833万円
農業総務費(職員の給与など)	7,722万円
中山間地域等直接支払事業	1億1,530万円
水田農業構造改革対策助成事業	2,553万円
農業公社運営補助	1,750万円
農地・水保全管理支払交付金事業	2,228万円
京都・丹波食彩の工房管理運営委託	900万円
瑞穂マスターズ施設管理運営委託	212万円
有害鳥獣対策事業	8,648万円
京丹波「食の郷」創造プロジェクト事業	471万円
その他農業振興に関する経費	4,222万円
畜産振興に関する経費	1,065万円
農地保全事業	2,210万円
下水道事業特別会計繰出金	2億141万円
(農業集落排水事業)	
土地改良施設維持管理事業	2,300万円
その他農地保全などに関する経費	816万円
山村開発センターの管理運営	787万円
山村開発センター改修事業	3,788万円
情報センターの管理運営	2億944万円
(職員給与など含む)	
新山村振興等農林漁業特別対策事業	243万円
林業総務費(職員給与など)	2,266万円
公有林整備事業	1,727万円
森林整備地域活動支援事業	2,724万円
森林管理道開設事業(和知地区坂原—西河内)	8,595万円
木のめぐり活用推進事業	527万円
その他林業振興に関する経費	4,362万円
林業センターの管理運営	326万円
内水面漁業振興対策事業	272万円

すこやか子育て医療費助成事業	2,753万円
京都子育て支援医療助成事業	835万円
すこやか子育て祝金事業	800万円
子どもたちのための手当支給事業	2億1,900万円
その他子育て支援に関する経費	2,324万円
母子父子家庭医療事業など	1,095万円
子育て支援センター事業	396万円
新上豊田保育所耐震補強工事	1,856万円
保育所の運営管理(職員給与など含む)	3億737万円

衛生費 14億1,524万円

保健衛生総務費(職員給与など)	1億1,130万円
母子保健・健康増進事業	1,650万円
特定健康診査等事業	1,996万円
後期高齢者健康診査事業	947万円
その他保健事業に関する経費	4,327万円
予防接種事業	4,112万円
合併浄化槽設置整備事業	710万円
下水道事業特別会計繰出金	6,247万円
(浄化槽市町村整備推進事業)	
新エネルギー導入促進事業	601万円
その他環境衛生に関する経費	386万円
南丹病院組合負担金	2,107万円
京丹波町病院事業運営補助金	3億3,487万円
医師確保奨学金・医療等審議会事業など	218万円
保健センター管理事業	1,355万円
ごみ処理対策事業	265万円
船井郡衛生管理組合に関する経費	2億7,091万円
水道事業特別会計繰出金	4億4,896万円

労働費 1,367万円

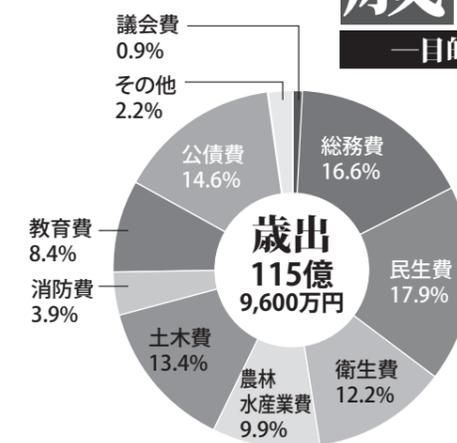
緊急経済生活支援対策事業など	1,367万円
----------------	---------

新携帯電話等エリア整備事業	2,714万円
新友好町交流推進事業	28万円
国際交流推進事業	301万円
人権啓発・男女共同参画推進など	321万円
京都地方税機構負担金	1,463万円
税務に関する経費(職員給与など含む)	9,402万円
戸籍住民基本台帳管理に関する経費	4,194万円
(職員給与など含む)	
選挙管理委員会・選挙啓発事業	56万円
各種統計調査に関する経費(工業統計など)	85万円
監査委員会事業	60万円

民生費 20億8,090万円

国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金	8,718万円
社会福祉総務に関する経費	2億7,751万円
(民生児童委員活動事業や職員給与など)	
和知高齢者コミュニティセンター管理運営委託	70万円
共同作業所入所訓練事業	1,947万円
重度心身障害老人健康管理事業	2,751万円
心身障害者医療事業	5,353万円
自立支援医療給付事業	1,943万円
障害者自立支援事業	2億6,589万円
地域生活支援事業	3,411万円
その他障害者福祉に関する経費	506万円
老人医療事業	3,245万円
シルバー人材センター事業	633万円
介護保険特別会計繰出金	3億670万円
在宅高齢者等生活支援事業	3,024万円
府後期高齢者医療広域連合事務事業	2億5,728万円
地域包括ケアシステム推進事業	1,822万円
介護予防安心住まい推進事業	80万円
その他老人福祉に関する経費	1,076万円
国民年金事務に関する経費	77万円

【一般会計】歳出 目的別



議会費 1億345万円

議会運営に関する経費	1億345万円
(議員報酬や職員給与など含む)	

総務費 19億1,932万円

電子入札事業	247万円
一般管理に関する経費	4億3,587万円
(区長会運営や職員研修、職員給与など)	
広報京丹波(おしらせ版含む)の発行など	359万円
例規集管理事業	534万円
財政・会計・財産管理に関する経費	7億1,741万円
(町有財産・庁舎管理、基金積立事業など)	
その他総合企画に関する経費	545万円
新旧和知第二小学校解体工事	2,138万円
支所の管理に関する経費	1億6,404万円
(支所管理や職員給与など)	
公平委員会事業	5万円
街灯設置補助金・防犯協会負担金など	136万円
グリーンランドみずほ管理運営事業	2,375万円
駅を守る会事業(和知駅振興事業補助)	199万円
町営バス運行事業特別会計繰出金	6,065万円
町営バス利用促進補助	68万円
交通対策に関する経費	201万円
(交通安全啓発や交通指導員活動、放置車両対策など)	
自治振興補助金事業	60万円
協働のまちづくり・地域支援事業	609万円
ホームページ・行政情報システムの運用管理	3,888万円
新行政情報システム更新事業	2億4,148万円



食を生かしたまちづくりとして、昨年度から取り組んでいる「京丹波「食の郷」創造プロジェクト」。本年度も、地元の特産品や食文化を全国に向け情報発信する場として「食の祭典」の開催を計画しています。



健診やがん検診をはじめ、健康相談などの保健事業を実施することで、町民のみならずの健康増進を推進します。写真は、健康相談(鎌谷中公民館)



本年度予算において、老朽化し危険な状態となっている旧和知第二小学校校舎の解体工事を予定しています。

特別会計当初予算の概要

また、サービス事業勘定では地域包括支援センターを拠点に介護予防支援事業を推進するための予算を計上し、老健施設サービス勘定では和知診療所二階に設置している老健施設の運営や入所サービスの提供などを行う予算を見込んでいます。

介護保険事業

事業勘定の歳入のうち、自主財源である保険料は三億四、四八五万円。主な歳出は、保険給付費に十九億一、五七七万円、地域支援事業費に四、〇〇五万円を計上しています。

後期高齢者医療

後期高齢者医療制度を運営する京都府後期高齢者医療広域連合の算定に基づく保険料を徴収し、納付するための予算を計上しています。

国民健康保険事業

歳入のうち、自主財源である国民健康保険税は四億一〇七万円。主な歳出は、保険給付費に十二億五、三〇二万円、後期高齢者支援金に二億三、六八五万円、特定健診などの保健事業費に五、二四〇万円を計上しています。

町営バス運行事業

児童・生徒の通学や町民の交通手段確保のための町営バス運行経費をはじめ、利用者のニーズ調査、定期券を除く運行料金を一定期間半額にする社会実験に要する費用を計上しています。

土地取得

基金利子などの運用益を計上しています。

育英資金給付事業

育英資金の目的に基づいた給付金の支給経費を計上しています。

会計別一覧

会計名	本年度	前年度	比較
一般会計	115億9,600万円	105億3,700万円	10億5,900万円
特別会計・企業会計	79億6,059万円	84億7,116万円	△5億1,057万円
国民健康保険事業(事業勘定)	19億 613万円	18億3,724万円	6,889万円
後期高齢者医療	2億1,685万円	1億9,623万円	2,062万円
介護保険事業(事業勘定)	20億 30万円	18億3,566万円	1億6,464万円
介護保険事業(サービス事業)	690万円	701万円	△11万円
介護保険事業(老人保健施設サービス)	1億1,340万円	1億1,310万円	30万円
水道事業	15億9,260万円	16億 150万円	△890万円
下水道事業	9億7,500万円	10億9,100万円	△1億1,600万円
町営バス運行事業	9,105万円	8,736万円	369万円
土地取得	23万円	1億3,126万円	△1億3,103万円
育英資金給付事業	346万円	474万円	△128万円
国保京丹波町病院	10億5,467万円	15億6,606万円	△5億1,139万円

国保京丹波町病院事業

京丹波町病院、質美診療所、和知診療所、和知歯科診療所の経費を一括して計上しています。

収益的収入では、入院や外来などの医業収益として、京丹波町病院に五億一、〇六〇万円、和知診療所に七、三三〇万円、和知歯科診療所に五、三九〇万円を計上。一方、収益的支出における医業費用として、全体で八億四、九一五万円を計上しています。

水道事業

歳入のうち、使用料は四億九、六九八万円。主な歳出は、上水道事業に二億四、七五三万円、簡易水道事業に二億九、四六八万円、公債費の償還に七億一八五万円を計上しています。

なお、統合簡易水道整備事業は、丹波・瑞穂地区で八五・九%、和知地区で七〇・七%の進捗(二十三年度末)を見込んでいます。

下水道事業

歳入のうち、使用料は二億二、七四二万円。主な歳出は、農業集落排水費に二億八一〇万円、公共下水道費に一億三、七五二万円、浄化槽市町村整備推進施設費に一億二、三三四万円を計上しています。

【一般会計】主な使いみち

消防施設整備事業(防火水槽や車両更新など) 8,498万円
 その他消防防災に関する経費 143万円
 地域防災計画策定(改訂)業務委託料 596万円
 防災事業(放射線量計購入) 63万円
 その他防災・災害対策に関する経費 794万円

教育費

9億6,907万円

教育委員活動事業 158万円
 学童保育事業 1,235万円
 教育委員会事務局一般経費 1億3,208万円
 (職員給与や学校指導主事設置など)
 育英資金給付事業特別会計繰出金 171万円
 小学校の管理に関する経費 8,061万円
 (職員給与など含む)
 小学校学習支援教員等配置事業 1,384万円
 その他小学校教育振興に関する経費 3,099万円
 蒲生野中学校校舎改修事業 5,068万円
 中学校の管理に関する経費(職員給与など) 7,405万円
 中学校教育振興に関する経費 5,935万円
 (中学生国際交流、スクールバス運行など)
 幼稚園の管理運営に関する経費 5,780万円
 (職員給与など含む)
 社会教育振興に関する経費 1,429万円
 (社会教育団体育成や成人式開催など)
 公民館管理運営、図書館活動など 3,250万円
 文化財保護に関する経費 365万円
 社会体育振興に関する経費 822万円
 (生涯スポーツ振興や体育団体育成など)
 体育施設の維持管理に関する経費 1,451万円
 学校給食調理場等整備事業 2億7,703万円
 学校給食事業(職員給与など含む) 1億384万円

※1万円未満を四捨五入しているため、合計金額が合わない場合があります。
 ※新規事業には「新」をつけています。



消防技術の向上と士気高揚を図り、地域防災体制を強化するために町消防操法大会を開催します。写真は、平成22年度に開催した第2回大会の様子。

商工費

9,656万円

商工総務費(職員給与など) 717万円
 企業誘致対策事業 313万円
 商工業振興に関する経費 2,975万円
 (消費生活行政や融資保証料補給事業など)
 質志鐘乳洞公園の管理運営 1,242万円
 特産館「和」、わち山野草の森管理運営委託 2,500万円
 農林業体験公園管理委託 120万円
 ウェディパルわち管理事業 265万円
 その他観光振興に関する経費 1,524万円

土木費

15億5,518万円

土木総務費(職員給与など含む) 9,841万円
 道路台帳整備事業 200万円
 交通安全施設設置事業 450万円
 道路橋りょうの維持管理など 3,911万円
 丹波PA(仮称)と一体的な地域振興拠点整備 3億7,500万円
 道路新設改良事業 5億6,676万円
 河川維持管理事業 1,171万円
 畑川ダム建設関連事業 1億5,859万円
 都市・国土利用計画に関する経費 20万円
 都市公園整備(須知)などに関する経費 641万円
 下水道事業特別会計繰出金 2億6,985万円
 (公共下水道事業)
 町営住宅維持管理事業 1,171万円
 木造住宅耐震診断・改修事業 294万円
 住宅改修補助金交付事業 800万円

消防費

4億4,604万円

京都中部広域消防組合負担金 2億3,916万円
 消防団活動運営事業 8,690万円
 消防施設の維持管理 1,410万円
 操法訓練大会事業 494万円



利便性向上と安全な道路環境を目指して、町道の新設や改良工事を順次進めています。写真は、継続事業として拡幅工事を行っている町道北山線(上大久保地内)

和知簡易水道事業における公共事業再評価審査委員会の審査結果は「現計画を継続とする町の対応方針案は妥当」

京丹波町公共事業再評価審査委員会（以下「委員会」）が3月5日、依頼を受けていた「和知簡易水道事業の再評価」について、寺尾豊爾町長に審査意見書を提出。意見書を受けた寺尾町長は、「審査意見を尊重して事業を進めてまいります」と話し、3月21日には今後の対応方針を委員会に報告しました。



寺尾町長に意見書を手渡す片山委員長（役場町長室・蒲生）



西部簡易水道施設の整備が予定されている現地踏査をする委員（大簾地内）



整備された水道施設の内部を踏査する委員（上谷簡易水道施設・才原）

事業概要

- 事業期間：平成13年度～28年度
- 計画給水人口：4,280人
- 計画給水量：2,058m³/日
- 事業費：約47億1,732万円
- 主な事業内容
新設水源（4箇所）、既設水源（1箇所）、
新設浄水場（4箇所）、既設浄水場（1箇所）、
新設改良配水池（11箇所）、既設配水池（2箇所）、
新設加圧ポンプ場（4箇所）、
既設加圧ポンプ場（1箇所）、集中監視装置、
導水管（1,900m）、送水管（4,100m）、配水管（55,800m）



和知簡易水道事業で整備した中央浄水場（下乙見地内）

公共事業の再評価とは

公共事業の効率的な執行および実施過程の透明性を図る観点から、社会経済情勢の変化などを踏まえて改めて検証するため、「予算化されているが五年間経過した後も未着手の事業」継続中で十年間を経過した事業」などを対象に委員会にて審査し、町長に意見します。

町長は、委員会の意見を尊重し、事業の継続、休止、または中止の対応方針を決定し、委員会への報告および公表をします。

和知簡易水道事業の概況

和知簡易水道事業は、下水道整備などに伴う生活様式や社会情勢の変化による水道水使用量の増加に対応するため、施設の拡張や老朽施設の改良・更新を行うことと併せて、地域住民の公衆衛生の向上および安全で豊富な水道水を安定的に供給することを目的としています。

また、事業開始前の旧和知町においては、簡易水道施設が八箇所、飲料水供給施設が三箇所設置されていましたが、施設数が多く各地に分散していたことから維持管理が困難で安定した水道水の供給が図れない可能性があり、施設を増やすことができないことや隣接地区への緊急時応援給水にも限界があるなどの理由から、和知地区を一簡易水道として統合することとしました。

事業経過としては、平成四年度に「和知簡易水道統合整備計画」を策定後、平成十二年度に認可を受け、翌十三年度に工事着手。完成予定は平成二十八年年度で、進捗率は七〇・七％（平成二十三年度末見込）となっています。

に配慮しつつ、期間内での事業完了に向け、事業効果の早期実現に努められるよう要望します。

留意事項

- 膜ろ過方式が採用されているが、将来の部品交換時を考慮し、エレメントなどを確保しておくこと。
- 施設維持管理にかかる専門職員の育成を願いたい。
- 施設建設にかかる用地買収を早期に着手願いたい。
- 今後も町内施設の一元化を視野に入れた検討を継続すること。
- 施設建設費および維持管理費について、一層のコスト縮減を図られたい。

審査意見を受けての対応方針

審査意見を受け、町は今後の対応方針を「平成二十八年年度完成を目指して事業を継続する」とし、次の点に留意して事業を進めるよう委員会へ報告しました。

【事業実施に当たっての留意事項】

- ① 将来における浄水設備の交換部品確保に努める。
- ② 施設にかかる用地買収を早期に着手する。
- ③ 今後の事業進捗に合わせ、事業費および維持管理費の一層のコスト縮減に努める。
- ④ 町内施設の一元化を視野に入れた検討を継続する。

現地踏査および会合を重ね審査意見書を提出

委員会では一月三十一日の初会合を皮切りに二月十五日には上谷簡易水道施設と西部簡易水道整備予定地の現地踏査、そして二月二十八日に最終会合を開き、対象事業についての審査を実施。三月五日には、片山俊明委員長と隅山國夫副委員長が役場町長室を訪れ、寺尾町長に審査意見書を提出しました。

なお、審査意見書の主な内容は次のとおりです。

【審査結果】

和知簡易水道事業の再評価については、委員会に提出された資料や現地踏査における説明などに基づき、適切に事業が進められており、現計画を継続とする町の対応方針（案）は妥当であると判断します。

【意見】

町当局におかれては、本事業の実施により、地域住民の公衆衛生の向上および安全で安心な水道水の供給に努めていただいております。

本事業においては、二度の変更認可により水系の統廃合および除マンガン施設を追加し維持管理の軽減と水質改善に取り組まれていることをはじめ、下水道の普及などの生活様式の変化にも水需要を予測した事業が展開され、さらには最新のろ過装置や耐震型水道管を採用するなど、地域住民の生活基盤の充実に努めるものであり、事業の必要性を認めます。

なお、大変厳しい財政事情とは存じますが、次の点に留意いただき、今後とも安全・環境対策

後期高齢者医療制度に関するお知らせ

■平成24・25年度の保険料率が決まりました

後期高齢者医療の保険料率は、運営主体である後期高齢者医療広域連合が定めることになっており、2年ごとに見直しが行われます。今回、平成24・25年度の保険料率が決定しましたのでお知らせします。

◆京丹波町の平成24・25年度の保険料（年額）

保険料額は、均等割額と所得割額の合計額（「表1」参照）となり、本町の保険料率は次のとおりです。なお、保険料は被保険者お一人おひとりに納めていただきます。

○保険料率： **均等割額 44,400円** / **所得割率 8.73%**

<例>年金収入による年間保険料試算額（単身世帯の場合、年額）

年金収入80万円の場合			年金収入180万円の場合		
均等割額	4,440円	9割軽減が適用	均等割額	35,520円	2割軽減が適用
所得割額	0円		所得割額	11,785円	5割軽減が適用
保険料年額	4,440円		保険料年額	47,305円	

制度加入の前日まで会社の健康保険の被扶養者であった方は、当分の間、所得割額はかからず、均等割額が9割軽減されます。（国民健康保険や国保組合の加入者は該当しません）

※税法上の申告内容に基づき所得確認をしますので、軽減措置を受けるには申告義務が無い方（障害・遺族年金などの受給者、被扶養者、所得のない方）であっても、所得の申告をしていただく必要があります。

■人間ドック助成事業を実施しています

後期高齢者医療制度の被保険者を対象とした人間ドック助成事業を実施しています。

対 象 者 ①後期高齢者医療保険料を滞納していない方
②同一年内に人間ドックや町の実施する住民健診を受診していない方
*人間ドックを希望される方は、住民健診を受診しないようご注意ください。

助 成 額 人間ドックに要する経費の9割相当額
*ただし、脳ドックについては経費の10,000円を超える額。

申 込 方 法 後期高齢者医療被保険者証と印鑑をご持参の上、住民課または各支所へお申し込みください。
（必ず事前申込が必要です）

【問い合わせ先】住民課 ☎82-3803

保険料額の算定式（表1）

$$\text{年間保険料 (限度額55万円)} = \text{均等割額 44,400円} + \text{所得割額 (総所得金額等 - 基礎控除額33万円) × 所得割率8.73\%}$$

※「総所得金額等」は、収入額から控除額を差し引いた額です。
（控除額とは、公的年金等控除額、給与所得控除額、必要経費のことであり、所得控除（社会保険料控除、扶養控除等）は含みません）

*不均一保険料率について

保険料率は同一都道府県内では均一が原則ですが、医療費が著しく低い市町村については、平成20年度から6年間、特例として低い保険料率が設定されます。本町はこれに該当するため、京都府の均一保険料率よりも低い保険料率が設定されています。

参考 京都府の均一保険料率 均等割額46,390円 / 所得割率9.12%

◆保険料の軽減措置（平成23年度と同様）

保険料額の算定では、所得の低い方は世帯（被保険者全員と世帯主）の所得に応じて均等割額が軽減されます。また、所得割額の算定において、総所得金額等から基礎控除額33万円を引いた額が58万円以下の方は、所得割額が5割軽減されます。（「表2」参照）

均等割額の軽減割合（表2）

均等割額	
総所得金額等（被保険者+世帯主）が下記の基準を超えない世帯	軽減割合
8.5割軽減の対象となる世帯のうち、被保険者全員が年金収入80万円以下（その他の各種所得がない）の世帯の方	9割
基礎控除額（33万円）	8.5割
基礎控除額（33万円）+24.5万円×被保険者数（被保険者である世帯主を除く）	5割
基礎控除額（33万円）+35万円×被保険者数（被保険者である世帯主を含む）	2割

所得割額	
基礎控除後の総所得金額等が下記の基準を超えない方	軽減割合
58万円以下	5割

上豊田保育所下山分園を 1年間休園します

上豊田保育所下山分園については、耐震診断結果の速報Is値が0.3未満と判定され、震度6強から震度7程度の地震による振動や衝撃において倒壊または崩壊する危険性が高いとの結果が示されました。

速報結果ではありますが、町では児童の安全な保育環境が確保されない現状を深く受け止め、下山分園を平成25年3月31日までの1年間休園することとしました。

保護者をはじめ、多くの皆様に大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、休園期間中については児童の保育などを本園である上豊田保育所で行っていますので、途中入所などのご相談は同保育所か子育て支援課までご連絡ください。

【問い合わせ先】子育て支援課 ☎82-1394
上豊田保育所 ☎82-2056

平成24年4月1日から 町立医療機関の 診療体制を変更しました

平成24年4月から町立医療機関で新たに3名の常勤医師（庄林医師、仲村医師、横井医師）が勤務することとなり、各施設の診療体制を変更しましたのでお知らせします。

京丹波町病院 病院長：前田武昌 副院長：垣田秀治 外科部長：庄林 智 内科医長：横井大祐

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日 (毎月第2・4土曜日)
内科1診	細見泰生	飯田貴弥	妹尾高宏	細見泰生	藤井 渉	第2週＝垣田秀治 第4週＝横井大祐
内科2診	垣田秀治	垣田秀治	横井大祐	藤井 渉	林 靖彦	
内科予約診察 (13:00-15:30)	横井大祐	—	林 靖彦	垣田秀治	垣田秀治	—
外科	前田武昌	庄林 智	前田武昌	担当医	庄林 智	—
整形外科	大橋鈴世	—	—	—	澤井泰志	—
小児科	前田裕史	坂本謙一	中島久和	細井 創	都間佑介	友安千紘 (第2・4週)
皮膚科 (第2・4金曜日)	—	—	—	—	浅井 純 (15:00-16:30)	—
精神神経科 (毎月第2火曜日)	—	石川雅裕 (13:30～15:00)	—	—	—	—
肛門外科 予約制	担当医 (13:00-15:30)	—	—	—	—	—

外来診察は、午前9時からの診察となります。(内科予約診察、皮膚科、精神神経科、肛門外科の診察時間は、上記表に記載の時間です)



質美診療所 診療所長：庄林 智

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
医師	細見泰生	—	—	—	庄林 智

和知診療所・老健施設 診療所長(老健施設長)：佐藤秀一郎 副所長(副施設長)：仲村 司

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	午前	仲村 司	上村聖子	川人 豊	仲村 司
	午後	土井たかし (14:00～16:30)	—	—	—
外科	佐藤秀一郎	—	佐藤秀一郎	—	—
整形外科	—	—	—	—	大川弘樹
夜間診察	—	—	—	奇数週＝仲村司 偶数週＝垣田秀治 (17:30～19:00)	—



和知歯科診療所 診療所長：坂下敦宏 歯科医長：舟木 健

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
歯科	坂下敦宏 舟木 健	舟木 健	坂下敦宏	担当医	坂下敦宏 舟木 健	担当医

- 京丹波町病院では、外来診察でのお薬の処方が原則院外処方となりました。
- 質美診療所では、診察日が月曜日と金曜日になり、診察時間が13時30分から16時までとなりました。
- 和知診療所では、診療開始時間が9時から（一部は従来どおり9時30分から）となりました。また、内科は、常勤医師(仲村医師)が週3回外来診察を行っています。
- 和知歯科診療所では、土曜日の診察を開始しました。(診察時間は平日と同じく、9時～12時、13時～16時30分)

平成24年4月からの
主な変更点

行政Information

「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参画し 本庁と支所に回収箱を設置

インクカートリッジを回収し、再資源化を通じて社会にそして地球環境に貢献したいとの願いを含め、プリンターメーカー6社がスタートさせた「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」。本町では、ごみ減量化およびリサイクル活動の推進を目指して、新たに同プロジェクトへ参画しインクカートリッジの回収を開始しました。

■取り組み経過および活動内容

家庭用のインクカートリッジは、リサイクル可能な資源ごみであるにもかかわらずビニール類として廃棄されてきました。本町では、ビニール類の廃棄量が増加傾向にある現状を受け、同プロジェクトを推進しているプリンターメーカー6社と協定を締結し、インクカートリッジの再資源化に向けた取り組みを展開しています。

ご家庭で不要になったインクカートリッジを下記のとおり回収していますので、ビニール類として処分せず、再資源化に向けた活動にご協力ください。

■回収しているインクカートリッジの製造元(プリンターメーカー6社)

EPSON(セイコーエプソン株式会社) hp(日本ヒューレット・パカード株式会社)
DELL(デル株式会社) LEXMARK(レックスマークインターナショナル株式会社)
brother(ブラザー工業株式会社) Canon(キャノン株式会社)

■回収箱設置場所

京丹波町役場本庁(蒲生)、瑞穂支所(橋爪)、和知支所(本庄)
※丹波郵便局と和知郵便局も回収箱を設置されていますのでご利用ください。

■注意事項

- (1) 高度なリサイクル処理を行うため、6社の純正カートリッジ以外はいれないでください。
- (2) 著しい破損品や改造品はリサイクルの障害になるため、回収箱には入れないでください。
- (3) 袋や箱、電池など、カートリッジ以外のものは入れないでください。
- (4) 事業所から排出されるものは対象外となります。



【問い合わせ先】住民課 ☎82-3803



職員の配置

4月1日付け、人事異動を行い、職員の配置は次のとおりになりました。
(嘱託職員など除く、敬称略)

和知支所

京丹波町本庄ウエ16番地

和知支所 代表☎84-0200

【支所長】榎川 諭
【支所長補佐】山根美智代
【主任】片山利枝・堀 友輔(地域支援担当)・四方晴美

荻野雅則・片山晴子・原田結城(地域支援担当)

保健福祉課和知地域保健福祉室 ☎84-0049

【室長】谷口いづみ

水間和美

教育委員会

京丹波町本庄ウエ16番地(和知支所内)

教育委員会 ☎84-0028

【次長(参事)】藤田 真

■学校教育課
【課長】(藤田 真)
【総務係長】徳島康善
【学校教育係長】山内善史
【学校教育係主任】堀 敬之

松村康弘・山本美子・山口紗也香(新規採用)

■社会教育課
【課長】山内善博(兼B&G海洋センター所長)
【課長補佐】上西睦美
【文化財係長】山下 泰
【社会教育係長】(上西睦美)

山内秀文・豊嶋裕美・川野雅夫

健康管理センター

京丹波町須知鍋倉1番地1

子育て支援課 ☎82-1394

【課長】山田由美子
【課長補佐】塩田 誠
【支援係長】山内圭司
【作業療法士】石原詩子

保健福祉課丹波地域保健福祉室 ☎82-1800

【室長】(大槻澄子)

金江美和・友金輝幸

畑川浄水場

京丹波町下山クラベシ41番地

水道課 ☎83-9105

【課長】木南哲也
【課長補佐】増谷隆男・山内和浩・八木敏和

【上水道係長(事業担当)】宇野浩史
【上水道係長(庶務担当)】高屋敦彦
【下水道係長(事業担当)】樹山敬子
【下水道係長(庶務担当)】岩崎勝也

坂本 優・梅原千里・山西博美・吉田和晃・軽尾圭造

瑞穂支所

京丹波町橋爪桧山49番地

瑞穂支所 代表☎86-0150

【支所長】中尾達也
【支所長補佐】永武幸子
【主任】谷口玲子・田中晋雄・野間 隆

西村明美・小松聖人(地域支援担当)・西山宏明・岡本 淳(地域支援担当)

教育委員会社会教育課瑞穂分室 ☎86-1150

【主任】山崎哲夫

中央公民館

京丹波町蒲生野口38番地

教育委員会社会教育課丹波分室 ☎82-0988

松谷洋二

京丹波町情報センター

京丹波町和田田中15番地1

企画政策課情報推進室 ☎88-5000

【室長】藤井雅文
【主任】野々口慶司

田畑昭彦・長谷川 真・西村公貴・山内美幸・伴田裕章・太田周人

国保京丹波町病院

京丹波町和田大下28番地

医療政策課 ☎86-0220

【課長】藤田正則
【課長補佐】中川 豊
【医療係長】村山英紀

国保京丹波町病院 ☎86-0220

【院長】前田武昌
【副院長】垣田秀治
【事務長】(藤田正則)
【看護師長】石田由美子
【診療部長】(垣田秀治)
【外科部長】庄林 智(新規採用)
【事務長補佐】(中川 豊)
【内科医長】横井大祐(新規採用)
【事務主任】吉田敦美・光枝三千代
【事務員】原澤美和

【看護主任(副師長)】平田千春・林 真紀
【看護主任】大西正美・西山由里
【看護師】細見友子・竹内和代・上田武美・谷掛郁代・伏原幸子・山田加奈恵・中村育美・田路利恵・谷口紀久恵・野村厚子・川勝里美・白波瀬小百合・北村友美・片山比佐子・竹内美弥・新宮さちよ・村上永里子・稲元左希子・吉田恵理子・能勢真由美(新規採用)・山内真紀(新規採用)

【放射線技師】山内敏行
【薬剤師】松村陽子・熊谷 明
【理学療法士】井爪直美・伊藤正幸
【管理栄養士】藤ノ井公代

土木建築課 ☎82-3806

【課長】十倉隆英
【主幹】田中博典
【課長補佐】保田志信
【管理係長】原澤 恒
【管理係主任】山内智美
【土木係長】(保田志信)
【建築係長】十倉克也

山下 徹・秋山卓弘・川勝千裕・野口雄祐(新規採用)・井上和宏(新規採用)・大秦 学(京都府派遣)

■開発プロジェクト推進室

【室長】川瀧勇人
【室長補佐】原田 聡(京都府)

中村昭夫

会計室 ☎82-3804

【会計管理者】谷口 誠
【室長】中井伸幸
【出納係長】石田美穂
坂本美佳子

瑞穂保健福祉センター

京丹波町和田田中6番地1

保健福祉課 ☎86-1800

【課長】岡本佐登美
【主幹】大槻澄子
【課長補佐】山鳥 強・古谷千津子・竹内 健・井上祐子・上原美智子
【健康推進係長】永海貴子
【健康推進係主任】藤田むつみ・島田恵子・堀 道枝
【福祉係長】(竹内 健)
【介護保険係長】西野菜保子
【包括支援センター主任】(井上祐子)

出野文隆・竹村 洋・村山奈央・小池由加里・山森要子・片山 哲・高見謙佑・桐村杏葉

【栄養士】上林小百合

【保健師】西村美智子・保田智子・中川早苗・保ヶ部直子・蓮見純子

税務課 ☎82-3802

【課長】堂本光浩
【主幹】福井彰一郎
【課長補佐】豊嶋浩史・今西政治(地方税機構派遣)
【賦課係長】(豊嶋浩史)
【徴収係長】小山 潤
【賦課係主任】島 文子・堀内浩二(地方税機構派遣)・山本桂市(地方税機構派遣)

伊藤康彦・細野江梨子

住民課 ☎82-3803

【課長】下伊豆かおり
【主幹】稲葉 出
【課長補佐】松下すみ子・西山民子・木下浩昭・岡本明美
【戸籍住民係長】(松下すみ子)
【保険年金係長】大西孝治
【環境推進係長】(木下浩昭)
【環境推進係主任】小谷誠之(船井郡衛生管理組合派遣)
【人権推進係長】(西山民子)

藤井知宝・四方妃佐子・並河直樹・吉田 聡・小崎亮太・江本宗玄

産業振興課 ☎82-3808

【課長】久木寿一
【課長補佐】高畑利彦・栗林英治
【農林振興係長】橋本賢二
【農林振興係主任】村田弘之・西山直人
【農林事業係長】大西弘一
【農林事業係主任】井上晴之
【商工観光係長】上林太志
【企業立地推進係長】(上林太志)

小原直也・下村邦喜・森田 亮・中澤紘士・隅田和樹(新規採用)・山下 稔(京都産業21派遣)

■農業委員会事務局

【事務局長】(久木寿一)
【事務局長補佐】中野竜二・(高畑利彦)

(中澤紘士)

京丹波町役場本庁

京丹波町蒲生八ツ谷62番地6
代表☎82-0200

議会事務局 ☎82-3805

【事務局長】長澤 誠
【庶務係長】上林潤子

上西貴幸

【参事】岩崎弘一(総務福祉担当)・野間広和(事業担当)

総務課 ☎82-3800

【課長】伴田邦雄
【課長補佐】山田和志・大西義弘
【総務係長】保田利和
【人事秘書係長】原澤 洋
【財政係長】山内明宏
【消防防災係長】北村和正

太田創一・堀 孝子・松下由美・石田武史・上原康宏・山口知哉・久保元真一・奥戸志帆・西村紗矢香(新規採用)

監理課 ☎82-3811

【課長】山田洋之
【総務契約係長】(山田洋之)
【指導検査係長】山内敏史

小林篤史

企画政策課 ☎82-3801

【課長】山森英二
【課長補佐】松山征義
【企画係長】山田泰行
【広報広聴係長】(山田泰行)
【交通対策係長】(松山征義)

正田智久・井口理恵・片山加奈

■地域支援室

【室長】(松山征義)
【地域支援係長】片山 健

退職職員

(3月31日付、敬称略。()は前職)

佐藤秀一郎(国保京丹波町病院院長兼 介護療養型老人保健施設長)
谷 俊明(教育委員会事務局教育次長 兼学校教育課長)
杉尾富美子(須知幼稚園長)
北村世津子(上豊田保育所長兼下山分園長)
藤田義幸(企画政策課主幹兼地域支援室長)
岡本英子(総務課課長補佐)
谷 久美子(上豊田保育所所長補佐)
三好 稔(企画政策課バス事業所主査)
西田明範(教育委員会事務局 社会教育課丹波分室主査)
田尻 穂(産業振興課主査)
伊藤千紗子(上豊田保育所保育士)
長谷川 央(土木建築課技師)

人の動き (敬称略)

■農業委員会委員(任期3年)
会長/白樫貢(下乙見)
同職務代理者/森田 保(富田)
委員/神谷みつ子(議会推薦、質志)・谷 芳子(農協推薦、質美)・吉田和雄(須知)・浅井明美(議会推薦、森)・村上正次(新水戸)・山内秀夫(質美)・谷山 正(安井)・桐野 哲(下山)・伊藤康二(蒲生)・大門勝美(豊田)・西村 晃(中台)・小林秀雄(口八田)・野間和幸(共済推薦、升谷)・北村和夫(実勢)・仲井範夫(中山)・児玉彩子(議会推薦、広野)
山田 均(保井谷)・伴田 勝(上大久保)・友金健司(大朴)・藤山雅靖(角)・西村明男(猪鼻)・軽尾 孝(東又)・川邊隆夫(下粟野)・梅原 真(小畑)・野口正利(土改推薦、豊田)・下村 虔(稲次)・藤田克己(院内)・高畑貞夫(八田)

■人権擁護委員(任期3年)
【新任】山崎要志(中台)
【再任】西田光子(下大久保)・友金一郎(大朴)
【退任】野口正利(豊田)

スポーツと文化の発展に貢献

スポーツ賞文化賞

平成二十三年京丹波町スポーツ賞・文化賞授与式が三月十八日、町中央公民館で行われました。
スポーツ賞は、長年にわたり地域のスポーツ振興に貢献した人や各種スポーツ大会で優秀な成績を収めた個人・団体などが対象。文化賞は、文化の発展に寄与し顕著な功績をあげた個人・団体などが対象で、受賞者は次のみなさん。(敬称略、主な功績のみ)

スポーツ賞

▼特別栄誉賞
徳島しおり(新水戸)、山下留依(豊田)、一谷奈歩(口八田)／女子U-18アジアカップポホッケー日本代表・優勝
竹林翔大(実勢)／U-16中学生選抜男子ポホッケー日本代表

優秀賞

梅原千佳(大倉)／皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝京都府代表
大西里奈(質美)／全日本中学生ポホッケー選手権大会・優秀選手
坂本美早(蒲生野)／全国障害者スポーツ大会「五十嵐」百位・二位
溝口翔也(豊田)／京都府小学生陸上競技選手権大会「ソフトボール投」・優勝

片山湧悟(安栖里)／国民体育大会「カヌー、少年男子カナドリアンペ」乙・六位

十倉里帆(稲次)、早川真子(大迫)／京都府高等学校カヌー選手権大会「女子カヤックペ」・優勝

梅原佐公(大倉)／全国中学生カヌー大会「二年女子シングル」・三位

野間知里(升谷)、安藤和佳(升谷)／B&G杯全国少年少女カヌー大会「女子カヤックペ」・二位

片山莉果(本庄)、梅原真実子(市場)／同「女子カヤックペ」・四位

上田大賀(大阪市)／同「男子カヤックシングル」・六位

町グラウンド・ゴルフ協会 丹波支部／全国健康福祉祭京都府代表選手権大会・優勝

▼スポーツ奨励賞

町スポーツ少年団／双葉町支援の活動が青少年育成に大きく寄与

文化賞

和知人形浄瑠璃会／催事や定期公演への出演、小・中学生への指導のほか、国民文化祭で伝統文化をPR
▼文化功労賞
和知文七踊り保存会、小畑万歳保存会、和知太鼓保存会／催事や定期公演の出演など、伝統文化の保存・継承に貢献

みずほ句歌会／毎月一回、松山公民館などで展示活動などを展開

塩田滿義(鎌谷中)／学校教育の二環として、環境保護活動や木彫りの野鳥、彫刻指導などに尽力

浅井義久(森)／古文書を読む会の立ち上げに尽力し、現在も指導者として活躍

芦田初枝(須知)／和紙ちぎり絵サークルの一員として、実年学級での指導や教室開設に尽力

中村志げ(大朴)／みずほ句歌会立ち上げおよび振興に貢献

猪田壽恵子(蒲生)／泰友書道会の指導者として活躍

堀貞夫(大迫)／和知人形浄瑠璃会に所属し、伝統芸能の保存・継承・発展に尽力

▼輝き賞

和知中学校女子合唱部／MBS子ども音楽コンクール西日本大会・優秀賞(金賞)など
和知中学校「総合的な学習の時間」和知人形浄瑠璃会／国民文化祭への出演および淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会・交流会に出演
須知高校農業クラブ／福島県立相馬農業高校と相互支援を行い、福京・野馬追サライミを生産して商品化

和知小学校人形浄瑠璃クラブ／国民文化祭への出演など



スポーツ賞および文化賞を受賞したみなさん(町中央公民館・蒲生)

和知診療所

京丹波町本庄今福5番地

和知診療所 (介護療養型老人保健施設) ☎84-1112

【所長】佐藤秀一郎(嘱託)
【事務長】野村雅浩
【副所長】仲村 司(新規採用)
【事務主任】芦谷真由美

【事務員】
福本糸み子

【看護主任(副師長)】中村幸子
【看護主任】小川和代
【看護師】
竹内秀子・上田ひとみ・大西好美・大西初美・貞守京子・小寺恵美・片山亜紀・滝波美由紀

【放射線技師】諫本慶春
【理学療法士】大田有次
【介護支援専門員】安藝俊郎

和知歯科診療所

京丹波町本庄今福13番地

和知歯科診療所 ☎84-1154

【所長】坂下敦宏
【事務長】(野村雅浩)
【医長】舟木 健
【主任】山口秀子
【歯科衛生士】片山昭子
【歯科技工士】堀 太

学校・保育園など

上豊田保育所 ☎82-2056

【所長】津田知美
【所長補佐】湊 直美
【主任】尾池奈緒美
【保育士など】
野口加代里・森 こそ枝・加藤亜希子・大秦優子・蒲生沙奈美・中西靖浩・伴田絵理・松村春成(新規採用)
山崎愛紀(養護教諭)
吉田尚代(管理栄養士、新規採用)

地元住民や消防団員と連携した初の地域連携型訓練

■和知診療所避難誘導訓練

三月九日、和知診療所において、京都中部広域消防組合指導のもと、地元住民と消防団員、診療所職員共同による地域連携型の避難誘導訓練が行われました。



連携して入居者を搬送する地元住民と消防団員（和知診療所・本庄）

この日は、和知診療所二階の介護療養型老人保健施設から出火したとの想定の下、一九番通報と院内放送による情報伝達をはじめ、消火栓を使った初期消火、患者の

避難誘導および避難器具を使った入居者の屋外搬送など、三者が連携を密にした迅速で的確な訓練が繰り返されました。

ほかにも、同組合職員が屋内消火栓の使用手法や毛布を使った搬送方法について実技を交えて説明し、参加者にいざという時の対応方法を指導。最後には、同組合丹波出張所の岡本民雄所長が「診療所のような施設では避難誘導がとても重要であり、今回のような連携型訓練は非常に実のあるものと考えます。訓練は重ねることが大切ですので、日ごろからの備えに心がけてください」と講評を述べられました。

体験活動と耳うどんで 下大久保の魅力を発信

■シイタケ菌打ち体験

下大久保区と京都学園大学で組織する「下大久保虹の村づくりの会」が三月十一日、下大久保機械センターでシイタケの菌打ち体験を行いました。

同体験は、都市住民との交流および地域活性化の一環として取り組まれ、申込者二十人が参加。参加者は作業工程についての説明を受けた後、原木（地元産クヌギの木）への穴あけやシイタケ菌の打ち込みなどに汗を流し、作業終了後には地元特産として売り出している耳うどんを味わいながら地元住民らと



シイタケの菌打ちを体験する参加者（下大久保機械センター・下大久保）

交流を深めました。

また、同区は、京都大学と東京都のIT関連会社が取り組んでいる国の「戦略的情報通信研究開発制度」のモデル地区に選定されており、今回の体験事業をはじめ、さまざまな地域情報などを「フェイスブック」(関心をもつ人同士が情報交換をするインターネットを使った交流サイト)を活用してリアルタイムに発信されています。

原子力事故に備えた防災対策について協議

■防災会議

町や京都府、住民代表者ら二十人の委員で組織する「京丹波町防災会議」が三月二十三日、役場議場で会合を開き、原子力防災対策や住民避難計画案について協議しました。

本町では、原子力事故における防災対策を重点的に実施すべき地域の範囲(EPR)を京都府が二十

としていたことから、これに基づき町地域防災計画の見直しや住民避難計画(案)の策定作業を進めてきました。内閣府原子力安全委員会が緊急防護措置を準備する区域(UPE)として新たに三十キロを示されたことから、今後の原子力防災対策を的確に推進していくため、範囲を見直す形で防災会議が開かれました。

含めた原子力防災対策の経過について報告した後、今後の取り組み方針を説明。続いて、三十キロを範囲に和知地域のほぼ全域を対象とした住民避難計画(案)の概要を示し、委員から意見を求めました。



会議であいさつをする会長の寺尾豊爾町長（役場議場・蒲生）

林業大学校と地域の絆づくりを担う協議会が発足

■京都府立林業大学校連携協議会設立総会

京都府立林業大学校連携協議会の設立総会が三月二十一日、和知ふれあいセンターで開かれました。

同協議会は、林業大学校と地域の絆づくりをサポートし相互連携を推進することにより、大学の発展および京丹波町の地域活性化につなげることを目的に、町および京都府、大学の関係者、区長会や森林組合などの公共的団体代表、個

人ら十七人で組織。想定される連携内容としては、小中学校教育や町民講座、ボランティア活動による大学の地域貢献、実習生の提供および指定寮との連絡窓口など大学校運営の後援、イベントへの学生参加など地域住民との交流などが考えられます。

総会では、府担当者による大学の概要紹介や町担当者による協議会の趣旨説明、規約制定などが行われた後、会長に大学校誘致に尽力された前府議会議員の上田秀

男さん、副会長に本庄商業会長の堀吉宏さんを選出。就任した上田会長は「知事の選挙公約である林業大学校設立が実現できたことは大変喜ばしい限りであり、京丹波町に誘致できたのは寺尾町長の熱い思いの賜物であります。大学校が発展し、地域振興につながるよう期待するとともに、本会の目的である地域連携が達成できるよう全力を注いでまいります」と、今後の意気込みを込めてあいさつしました。



就任あいさつをする上田会長（和知ふれあいセンター・本庄）

友好町・双葉町への息の長い支援に向けて

■十一人の派遣団が避難所を訪問

双葉町への復興支援活動として、町職員や町社会福祉協議会職員、須知高校生およびPTA役員の一十人が派遣団を結成し、三月二十一日〜二十二日にかけて避難所の旧騎西高校(埼玉県加須市)を訪問しました。

今回の訪問は、避難生活の現状把握による今後の支援活動の検討と、須知高校生が実際に現地を訪れて支援活動を行うことを目的に実施。二十一日には、須知高校で生

産したヨーグルトを避難住民約三百人に手渡した後、生活されている教室を訪れ、住民との会話を重ねる中で交流を深めました。

翌二十二日には、派遣団全員で井戸川克隆町長と面談し、支援物資や支援金などを手渡しして息の長い支援活動が続いていくことを伝え、職員らは関係部署を回り、双葉町職員から直接話を聞いて今後必要とされる行政事務や支援業務の情報などを収集。一方で、須知高校生は住民との交流の場を持ち、体験談を聞く中で、現地を訪れない



避難所でヨーグルトを手渡す須知高校生（旧騎西高校・加須市）

とわからない避難生活の実情などを感じ取っていました。

わたしたちの町

人口	16,343(-37)
男	7,715(-10)
女	8,628(-27)
世帯数	6,453(+5)
4月1日現在/()は前月比	

義援金などの受付状況

東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額	
義援金	8,619,988円
復興支援募金	4,984,371円

*平成24年3月31日現在

夢と希望を胸に新たな旅立ち

■卒業・卒園式

三月十三日、町立中学校の卒業式が各校で行われ、計百五十六人の



答辞を述べる卒業生代表者(和知中学校・市場)



卒業証書を受け取る卒業生(瑞穂小学校・橋爪)



卒園式で元気いっぱい唱歌う卒園児(上豊田保育所・豊田)

卒業生が学び舎を巣立ちました。和知中学校の卒業式では、卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡された後、卒業生代表の堀真優さん、

瀬野満梨香さん、谷友裕さんの三人が「世間の風は厳しく、時に倒れそうになることがあるかもしれないが、学校生活で築き上げた絆を抛り所に、自分の選んだ道を一歩一歩前へ進んでいきます。今後は、在校生のみなさんの力でさらに和知中学校の名前を広めていってください」と答辞を述べました。

三月二十二日には、本年度に開校した瑞穂小学校をはじめ町立小学校五校で卒業式が行われ、百五十三人が卒業。また、三月十九日には須知幼稚園で二十八人、三月二十六日には各保育所で計七十六人が卒園しました。

防 災力強化に向け消防車両六台を更新

■消防車両配属式

平成二十三年度消防車両配属式が二月二十五日、役場議場で行われ、消防団幹部団員や配属先の部員らが出席しました。

配属された車両は、救助資機材搭載型車両(二台)と小型動力ポンプ付き積載車(五台)の計六台。配属式では、はじめに寺尾豊爾町長が梅原好範団長に配属書を交付し、続いて梅原団長が配属先の各部長

へ配属書と車両の鍵を手渡した後、「町民の皆様の期待に応えられるよう、配属された部を中心に有事に備えるとともに、団員一丸となって地域の安心・安全に努めます」と訓辞を述べました。

また、式典終了後には、役場前駐車場において車両や資機材などの取り扱い方法の説明が行われ、配属される部員らは熱心に操作方法などを教わっていました。



寺尾町長から配属書の交付を受ける梅原団長(役場議場・蒲生)

京丹波町のシンボル

【町の鳥】
うぐいす



【町の木】
イチヨウ



【町の花】
つつじ



編集後記

このたびの人事異動により、子育て支援課に配属されることになりました。広報担当としての4年間、取材を通じてたくさんの人と出会い、多くのことを学ばせていただきありがとうございました。また、写真撮影をはじめ、取材やインタビューなど、広報担当でない経験できない貴重な体験ができたことを改めて感謝しています。振り返ると、一つひとつの出来事が昨日のこのように思え感慨深いものがありますが、中でも旧瑞穂地区4小学校の閉校および瑞穂小学校開校の記事を書かせていただいたことは一生忘れることができません。そして、その時にインタビューした児童たちの卒業式を表紙に広報生活の最後を締め括れたことは、本当にうれしい限りです。まだまだ未熟で反省は尽きませんが、これまでに培った力を生かして新たな部署で精一杯がんばりますので、今後ともよろしくお願いいたします。後になりましたが、広報を通じてお世話になった皆様、本当にありがとうございました。来月号から担当する新しい編集子をよろしくお願いいたします。(K)